

ビデオ/DVD教材

なくそう!防ごう!気づこう!アカデミック・ハラスメント

大学が誰にとっても快適で楽しい! 研究・教育・学習・労働の場であるために!

アカデミック・ハラスメントって、何だろう?

学生だから関係ない、優秀な研究者なら被害は受けない、と思っていませんか?

あなたが教授なら、熱心な指導をアカデミック・ハラスメントといわれてはたまらない、と思っていませんか?

このビデオを見て、アカデミック・ハラスメントとはどういうもので、受け手にはどれほどつらいものかを考えてください。

アカデミック・ハラスメントが人権侵害に他ならないことを知ること。それが防止のための第一歩です。

このビデオは、大学等の研修や啓発の際の教材として用いられるように作られたものです。

添付のテキストも活用して、アカデミック・ハラスメントについての理解を深めてください。



キミ、駄目じゃないか!
そういう冗長な説明はやめたまえ。

第1話『あるゼミで』: 4年生の真路進君が一生懸命準備をしてゼミの発表に臨んだところ、威矢賀良瀬教授は「準備が不足だ」「能力がない」「ゼミには来なくていい」といって、途中で席をたってしまう。その上、教授はレポートを・・・。

第2話『私にも指導を!』: 社会人女性院生の夔岩遼子さんは博士論文の指導を受けようと会社を早退して指定された時間に駆けつけた。しかし瀬田田赤也教授は別の女性院生に指導をしていて、夔岩さんを長時間待たせた末、「君の指導はしない」「君は若くもないし、性格も可愛くないから」という。



第3話『研究か家庭か』: 我山登教授から目をかけられている前途有望な若手研究者 若井夢男君は、我山教授の機嫌のよいときを見計らって、結婚記念の家族旅行のため3日ほど休みを欲しいと希望する。ところが、我山教授は・・・。



何考えてんねん君は!
研究と家庭どっちとんねん?

第4話『男女共同参画の殺し文句』:

女性助手の常井良子さんが出産休暇をとって休んでいる間に、腹原砂夫教授は常井さんの後任として新しく女性助手を雇い入れることにしてしまう。産休明けの常井さんの「わたし、研究をつづけたいです。子育てと両立させますから。仕事をさせてください。」「子育てと研究の両方をするのは、そんなに悪いことですか?」という悲痛な訴えに、腹原教授は男女共同参画のレトリックを用いて奇妙な理屈をいう。



子育てと両方やりますから、
研究を続けさせてください。

制作/販売: NPO アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク (NAAH)

制作年月: 2004年11月 (12分 VHS, DVD)

購入のお問い合わせは、

(株)アスパクリエイト 〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-16

TEL 03(5803)9511/ FAX 03(5803)9530

<mailto:info1@asp-create.com> <http://www.asp-create.com>

NPO アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク

<http://www.naah.jp>

〒530-0042

大阪市北区天満橋 1丁目 3-20
- 307

(2004年11月27日、大阪NPOアワード2004において奨励賞を受賞しました)